

## 沖縄県サンゴ礁保全推進協議会・第6回理事会議事録

- 日時：平成22年6月14日（月）13:30～16:00
- 場所：沖縄県庁4階第3会議室
- 出席（役員）：西平守孝、中野義勝、沖縄県漁業協同組合連合会（上田邦太郎）、沖縄県文化環境部自然保護課（久田友弘）、環境省那覇自然環境事務所（小林靖英）、後藤亜樹、NPO法人沖縄県ダイビング安全対策協議会（横井仁志）、エコガイドカフェ（猪澤也寸志）、沖縄県衛生環境研究所（城間博正）
- 委任状：桜井国俊、寺田麗子、有限会社コーラルクエスト（岡地賢）、WWF ジャパン（安村茂樹）、上里幸秀、鹿熊信一郎、中山恭子
- 事務局：沖縄県文化環境部自然保護課（渡嘉敷彰・玉城正博）
- 運営委員：長田智史、山川英治

役員22名中、上記8名（会長、副会長、理事6名、監査役1名）の出席者および7名の委任状（理事6名）により、成立要件である理事の過半数を満たしたので成立、内容を協議し決定した。

### （1）平成21年度事業報告

#### ①沖縄県のサンゴ礁についての現状とりまとめ

- ・広報委員会が主導して行うことになっていたが、平成21年度の活動については、事務局で把握している範囲では特になし。
- ・総会に向けて進捗を委員会内で確認する

#### ②沖縄県におけるサンゴ礁保全についての提案

- ・企画委員会が主導して行うことになっていたが、平成21年度の活動については、事務局で把握している範囲では特になし、保全活動に直結するようなイベントの情報は、メーリングリストを介して流れている。

#### ③自然資源に関する地域での意識調査

- ・WWF ジャパンのプロジェクトと企画委員会が連携して調査を実施し、WWF ジャパンの南西諸島生物多様性評価プロジェクトとしての成果物はできあがっている。ホームページで優先保全地域を設定し公開している

#### ④資金調達に関する戦略の検討

- ・資金調達に関する戦略の検討は資金調達委員会が担当し、平成21年度はいくつかの助成制度に応募したが、アジェンダ21の助成金のみ獲得できた。

## ⑤その他活動に必要な事項

- ・平成 21 年度は、9 つの項目について活動を実施した。
  - (1) 理事会及び総会の開催
  - (2) 第 2 回美ら海写真展への出展
  - (3) 移植シンポジウム（後援）
  - (4) 環境フェアへの出展
  - (5) 経済同友会への出展
  - (6) シンポジウムの共催
  - (7) サンゴ礁コンテストの実施
  - (8) サンゴの日パネル展
  - (9) 三井物産環境基金活動助成事業「久米島応援プロジェクト」
- ・「シンポジウム&NPO・社会起業 見本市（メッセ）」への出展に参加してみて、営業の方がきている企業もあり、環境への貢献が企業イメージを高めるという意識が浸透してきているとの報告があった。
- ・子供をターゲットとしたパネルなどの作成について検討したほうが良いとの提案があった。

## ⑥会計報告

- ・平成 21 年度の会計報告が事務局提案通り承認された。平成 22 年度の予算は事業計画とともに検討。

### 会計報告に関する意見

- ・平成 21 年度の会計報告について、アジェンダ 21 以外の助成金申請件数は 1 件であったことから、もう少し、助成金申請について、力を入れたほうが良いとの意見があった。
- ・平成 22 年度の予算案については、パネル作成の金額が大きい。海洋博に相談があれば、ロゴマーク併記などの工夫もすることにより安く作成することができるかもしれない。
- ・理事会等での旅費支給について検討したほうが良いとの提案があった。
- ・会費とまでとはいかなくても、賛助金を集めるなどについて検討したほうが良い。そのためには、各委員会で協議会を盛り上げ、そのための支出を会員に見せることで、予算が集まると思う。
- ・今年は生物多様性年だから、海に特化しサンゴに関するイベントや子供向けのイベントを開催してはと提案があった。
- ・自然保護課で作成している多くの資料を書店などで購入できるよう検討をしたら良いのではと提案があった。

## (2) 平成 22 年度事業計画

- ・理事会で承認された平成 22 年度の事業計画は次の通り。
  1. 理事会及び総会の開催  
理事会を 2～3 回、総会を 1 回開催予定
  2. 第 3 回美ら海写真展への出展  
沖縄県ダイビング安全対策協議会が主催する那覇空港の写真展で、協議会のパネル掲示とパンフレット配布を予定
  3. サンゴ礁コンテストの実施  
図画コンテスト（第二回）を環境フェアで表彰式も含め開催予定
  4. 環境フェアへの出展  
環境フェアが豊見城町で 11 月に開催されるので参加を予定
  5. シンポジウムの開催  
シンポジウムと座談会を総会に併せて開催することを検討
  6. サンゴの日パネル展  
サンゴの日にパネル展示などを予定
  7. パネル作成  
パネル作成を予定
  8. 生物多様性年関連のイベント  
他の団体開催イベントへの参加を予定
  9. 三井物産環境基金活動助成事業『久米島応援プロジェクト』  
WWFJ 久米島応援プロジェクトへの協力を予定

### 平成 22 年度事業計画に関する意見

- ・子供向けの紙芝居をつくりたいと提案があった。デザイン学校などと協力し、生徒が理事等が提供した話題を材料に紙芝居を制作するなど検討していきたい。
- ・クイズを作りたいと提案があった。
- ・サンゴ礁保全推進行動計画への対応として、事業計画の中に盛り込んでどうかとの提案があった。
- ・離島などでイベントを開催するときに協議会での支援体制を検討した方がよいと提案があった。
- ・シンポジウム開催の予算を予算案に反映させたほうが良いとの意見があった。

## (3) 第三回総会

### ①議案書

- ・次の議案が承認された。
  - 第1号議案 平成21年度の活動報告
  - 第2号議案 平成22年度活動計画(案)について
  - 第3号議案 平成21年度決算報告について
  - 第4号議案 平成22年度収支予算(案)について
  - 第5号議案 第2回選挙結果
- その他

### ②日程

- ・ダイビング業者などのサンゴ礁保全に関係する団体は夏場の土日の参加が厳しいことから、総会の日程は9月上旬で調整することとなった。

日程に対する意見

- ・議決行使書と委任状の雛形については、文言の一部を上に移動すること。
- ・なるべく早めに会員には、連絡すること。
- ・郵送の前に、メーリングリストで案内するなど。
- ・協議会の交流会開催などについての情報をマスコミに投げ込みをしてはどうか

### ③会場

- ・会場は沖縄大学、ていりる、産業支援センターなど、料金が安く駐車場が使用できる会場を再検討する。

### ④費用

- ・上記の会場に合わせて検討する

### ⑤総会の進め方

- ・議長と会長は、別にする。
- ・挨拶は自然保護課
- ・各委員会の委員長は、当日は、答弁を行えるようにすること。

## (4) 第2回選挙について

- ・前回と同様な方法で行うこととする。
- ・投票用紙などの郵送費は、後で問題とならないように確認をとること。

## (5) その他

監査役の中山さんと寺田理事から辞任したい旨が事務局へ連絡があったので、理事会で議論した。

- ・中山恭子さんの監査役の辞任について

→理事会としては、辞任を認めることとし、代わりに、次点である環境整備課に監査員を依頼する。手続きとして、中山さんより辞任届を会長宛に提出してもらう。

- ・寺田さんの理事辞任について

→理事会としては、辞任を認めることとし、代わりの理事については、置かないこととする。手続きとして、寺田さんより辞任届を会長宛に提出してもらう。

## (6) 協議会運営における現状と課題

### ①各委員会の活動報告と課題

- ・企画委員会

紙芝の製作を検討する。

- ・広報委員会

会長と相談しながら、各理事からサンゴ礁の現状について情報をいただいて、ホームページにアップするという手順を踏む。

- ・選挙管理委員会

郵便の送り方など問題がないように進めること。

- ・資金調達委員会

理事みんなで情報を持ち寄り資金獲得に向けて協力する。

- ・運営委員会

収入増に関する取り組みができないか検討する。

### ②協議会及び各委員会の今後の進め方について

次のことについて確認した。

- ・ネットワークのネットワークがこの協議会の役割なので、何事にも中立な立場で、協議会としては情報の収集、共有の役割を果たすことにより、議論の場を提供することなどを行うこととしており、特定の問題に対して直接かかわることはしない。